

ウフベシ、莖ノ内ニアナアリ、絲アリ、ワカキ時皮ヲ去テ食フベシ、根ハ煮テ食フ、芋ノ如シ、

〔延喜式三十九〕漬年料雜菜

茨一石五斗七升鹽一斗五升○中略 右漬秋菜料

〔本草和名十八〕骨蓬俱腐黠骨一名鼓根出崔和名加波保爾

〔倭名類聚抄十七〕骨蓬 崔禹錫食經云骨蓬波和名加味醖大冷無毒根如腐骨花黃色莖頭著葉者也

〔箋注倭名類聚抄九〕本草拾遺云萍蓬草生南方池澤大如荇花黃未開前如算袋根如藕飢年當穀

也崔氏骨蓬卽是李時珍曰萍蓬草卽今水粟也三月出水莖大如指葉似荇葉而大徑四五寸初生

如荷葉六七月開黃花結實狀如角黍長二寸許內有細子一包如罌粟其根大如栗亦如雞頭子根

儉年人亦食之作藕香味如栗子

〔類聚名義抄八〕荊根カハホ子 蓬カハホ子 骨蓬カハホ子

〔運步色葉集加〕骨蓬カハホ子

〔饅頭屋本節用集加〕河骨カハホ子

〔書言字考節用集六〕萍蓬カハホ子草本草葉徑四五寸如小荷骨蓬順和若松根源川骨同

〔東雅十三〕骨蓬カハホネ○中 カハホネといふ義不詳根如腐骨といふ註に依れば此名あるが

如しされば此物倭名鈔にも水菜の類に見えて古の時には菜蔬となして嫩ふ所の物にあり

けり蓄をオホネといひ蕊をコホネと云ひしによりらば此物をかくいひし別に其義ありしも知

るべからず但此物の如きは骨蓬の字の音を呼びてカハホネと云ひしと見えたり

〔倭訓栞後編四〕かはほね 骨蓬をいふ倭名抄に見ゆ川骨の義也かふほねともいへり根如腐骨

と食經に見えたり蝦夷の地川骨蓮など一丈あまりに及ぶものあり陸かふほねあり花相似た

り唯水に生せず一種猿猴草と稱するものあり姫かはほねと稱するは矮生のもの也一種黃瓣

紅藥のものあり心紅といふ又赤花ありべにかふほねといふ飛入あり薄色あり立金花も花葉